

- (1) ねらい 購買者をイメージし、分かりやすさや美しさなどを考え、チョコレートのパッケージデザインの構想を練ることができる。
- (2) 評価規準 購買者をイメージし、分かりやすさや美しさなどを考え、デザインの構想を練っている。
(思考・判断・表現)
- (3) 学習展開 (1/10)

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）
導入	<p>1 身近なパッケージデザインを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> あのパッケージデザインは見たことがある。 いろいろなパッケージデザインがあって面白い。 パッケージデザインを作ってみたい。 	<p>【ICT 活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> パッケージデザインについての具体的なイメージがもてるように、複数のデザイン例を大型提示装置で示す。また、そのデータを生徒にも送信し、構想を練る時に生かせるように準備しておく。
展開	<p>2 課題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>買ってみたいくなるようなチョコレートのパッケージデザインを考えよう。</p> </div> <p>3 本時の流れを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日はパッケージデザインの構想を練る活動だ。 ICT 端末はデザインを考える場面で使用する。 <p>4 思考ツールを使い、ターゲットとシチュエーションを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもに食べてほしいからかわいいデザインにしたい。 家族と一緒に家で食べたくなるようなデザインにしたい。 <p>5 思考ツールを使い、デザインの構成を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶色や赤を使いたい。 どんな文字を入れるとおいしそうに見えるか。 <p>6 交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇〇さんは自分と似ている。 自分のアイデアを褒めてもらえて嬉しい。 〇〇さんにももらったアドバイスを生かしてみよう。 	
終末	<p>7 振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族と一緒に食べたくなるようなデザインを作ることに決めた。色は濃い茶と赤を使いたい。 〇〇さんにアドバイスをもらったので色や文字などを考えることができた。 次の時間までに、身の回りにあるパッケージデザインをたくさん見ておきたい。 <p>8 発表ノートを提出する。</p> <p>9 次時の活動を知る。</p>	<p>【ICT 活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 構想を練る際、何度でも書き直しができるようにデジタル化した思考ツールを活用する。 他の生徒の思考ツールを見て自らの考えを深めたり、新たな価値に触れたりしやすいように、ファイル共有機能を活用する。 <p>【ICT 活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル化した思考ツールを提出させることで、生徒と教師が共に同じノートを保有していることになる。生徒はいつでも見返すことができるし、教師は今後の指導に生かしやすいくなる。